



ピーターパン

ここは、イギリスのロンドン。
ウエンディはいつも弟たちに、冒
険の話を聞かせていました。

ある夜、窓から男の子が飛び込
んで来ました。

「ぼくは、ピーター・パン。ネ
バーランドからやって来たんだ。
さあ、一緒に冒険に出掛けよ
う！」

驚く子どもたちにピーターは、
妖精ティンカー・ベルが持つ魔法
の粉を振りかけました。すると、
ふわりと体が浮きました。自由に
空を飛べるようになったのです。

子どもたちはピーターとともに、
一緒に出発しました。

何日も飛んだ後、

「あれがネバーランドだよ！」

ピーターが叫びました。

「そして、あそこにいるのがフッ
ク船長さ。ぼくをとて恨んで
いるんだ。」

ネバーランドでは、ピーターの
仲間たちが待っていました。ここ
では、子どもはずっと子どものま
まです。ウエンディたちは、毎日
遊んで、愉快に過ごしていました。
ところがある日、ピーターが出

掛けた隙に、ウエンディたちは
フック船長に捕まってしまいます。
フック船長は、ピーターをおび
きだすために、ずっとウエンディ
たちを狙っていたのです。

このことを知ったピーターは、
フック船長の船に駆けつけました。
二人の戦いが始まります。

激しく戦っていると、フック船
長がバランスを崩して、

「おっとっと！」

大きな口を開けていたワニに、
パクリと飲み込まれてしまいました。
助け出されたウエンディたちは
ひと安心。

ピーターはにこりとして、海賊
船にティンカー・ベルの魔法の粉
を振りかけました。すると…。

海賊船が空に浮かびました。

「さあ、そろそろウエンディたち
の家に帰ろう！」

ウエンディたちは、

「さようなら、ネバーランド。ま
た来るね！」

三人が乗った海賊船は、大好き
な家に向かって、飛び立ったので
した。

(おしまい)